

ひまわり苑 便り

第127号
秋田

令和3年8月6日発行（年4回発行）発行人 管理者 小野 一也

〒010-0401 秋田県男鹿市野石字大場沢下1-11 Tel. 0185 (47) 2311・Fax 0185 (47) 2220
Eメールアドレス：wakafuku@beach.ocn.ne.jp URL：wakamifukusikai.com



とてもあま〜い
タマネギです🧅

真の自立支援を願う

保護者会 会長 安藤 政弘

この度のコロナ禍は百年前のスペイン風邪に匹敵する世紀的な大異変です。

当苑は東京都委託施設なので、都と秋田県両方の指導監査を受けます。コロナ禍の中でも職員はじめ各位の涙ぐましい苦労のおかげで、利用者一同何時も以上に澁刺な生活をして、利用者は守られています。

緊急事態宣言下の東京とは大違いの自然風土と施設環境に恵まれ、ひまわり苑は幸せです。

施設整備の先見性

開設30周年記念事業「医務室・静養室」の近代設備は、この度のコロナ感染・蔓延防止に格別な威力を発揮しています。理事長はじめ管理者の先駆的な大英断に深い敬意と感謝を申し上げます。

開設33年を迎え厨房は劣化が激しく、目下大改造工事が進んでいます。厨房の近代化は、利用者の生活にとつては最大の生命線です。保護者会としても最大の喜びであり、竣工後の利用者がニコニコと美味しく食べる姿が目に見えます。

自立支援の大切さ

障害者関係で最大の課題は「80・50」問題です。

昔は障害者は短命でしたが、これからは

親も子も長命時代ですが、現状では「親子きざし」が増えます。

従って「障害者の自立支援」は究極の願いです。

ひまわり苑は施設管理者・職員・地域社会の多くの人の涙ぐましい努力により、理想的な自立支援の成果を挙げてきました。

特にコロナ禍の中「利用者本位」を貫き、創意工夫を凝らし奮闘していただきました。

利用者との面会がままならない中、普段の利用者の日常のさり気ない風景を「ひまわり苑便り」近況報告号を8回臨時便として届けてくださいました。

職員の皆様の絶え間ないきめ細かなご配慮に、有難く感謝申し上げます。

先駆的なひまわり苑

「施設整備の先見性」「自立支援の先駆性」に恵まれ、我々保護者会は感謝のかぎりですが、保護者会としても、このコロナ禍の体験を生かし「自立支援の大切さ」を十分に学び生かさねばなりません！！

親として真の愛情はいつも子供にありながら、「真の愛情は親なき後、子の自立した生活」を目指すことです。

盲目的な愛情から、厳しくとも自立の確立を目指しましょう！！

ひまわりは向日性です。どんな苦境にもめげず、太陽の下で笑顔が絶えない「自立支援の成果」を目指しましょう！！

今思うこと

管理者 小野 一也

新型コロナウイルス感染予防とは、昨年2月以来の付き合いとなりました。

マスクの着用、手指の消毒、検温、換気、リモートによる会議や面会等々、それまではなかったような事柄がしっかりと当たり前になってしまいました。

ウイルスを施設に持ち込んではいけないというプレッシャーは相当なものです。少しでも先が見えるのならまだしも、全く見えない状況でこの戦いを続けていくことは、我慢の限界をはるかに超えたものになってしまいました。そして、そんな中、施設内で感染者が出たとなると、一気に現場は命を守る戦いの場となります。

原則的には入院できることになっていますが、障害ゆえの行動特性で必ずしも入院できるとは言えないそうです。そうなれば施設が療養所となるわけです。想像もしたくないことですが、他県の実例を参考に対応策を考えておかなければなりません。

最近では、ワクチン接種という安心材料を得ることはできましたが、今の生活が大きく変わることは考えられません。現在「の当たり前を収束というゴールまで継続するしかありません。

利用者の皆さん、そして職員の我慢が一日でも早く解かれることを願うしかできないという、本当に厄介な世の中です。

6月のレクリエーション

6月29日、レクリエーションが行われました。暑さも厳しくなってきましたが、食堂・ホールに新しく設置されたエアコンのおかげで、快適な中ゲームを楽しむことが出来ました。



伊東さんはうちわを細かく動かし慎重に確実にカップをとらえました。



高村さん♡小林さんペア
笑顔が素敵です。

今回のゲームは「カップインボール」。
盤面はレゴブロックで障害物を作り、ピンポン玉を転がして点数の書いてあるカップに入れるものです。ピンポン玉を転がすアイテムは「うちわ」と「ストロー」。
みんな器用にカップインしましたが、「50点」のカップには嫌われました。残念。



秋本さんはストローを使って「50点」ねらい!



島田さんの勢いに大友さんは圧倒されました。



車椅子や歩行器を使っている利用者さんも、思いっきり楽しんでいましたよ。



来月のレクリエーションが楽しみだなあ。



ゲームを楽しんだ後は、「表彰式」という名のおやつタイム♡♡♡



収穫出来大事に満面の笑みです。



たくさん掘るぞー!



丁寧に運びます。



控えめに持ちますね...



たくさん持てました!

今年のタマネギ、ジャガイモの収穫は!?

一輪車にタマネギをたくさん積みます。



今年のタマネギ収穫は残念ながら例年の1/4程度しかありませんでした。原因は、秋に植えた苗が冬季間の強風で飛ばされてしまったことによります。それでも、みんなで一懸命命苗を守り、どうにか収穫を迎える事が出来ました。収穫数は少なくなりましたが、味は自慢の美味しいタマネギです。これから厨房で料理してもらう事が楽しみです。

丁寧に並べたら終了です。



畑と車庫を何往復もしてタマネギを運びます。





たくさん取れたジャガイモを手にいい笑顔です。



ジャガイモが顔を出しました。

ジャガイモも小ぶりで収穫が少なくなってしまうました。地域全体的に話を伺っても、同じように収穫量が少なかったと言った話が聞かれ、何が原因だったかは…。それでも収穫の際は天候に恵まれ、みんなで汗を流しながら頑張りました。



リハビリ班

リハビリ班の歩行訓練の様子です。体調や天候を見ながら外に出られる日は散策路で身体を動かしています。



それぞれのペースで楽しんでいます。

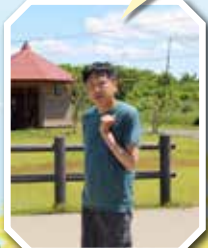


暑いですが、職員はマスク着用で頑張っています。



4月に入所した哲寛さん秋田での散歩はいかがですか？

2人ともカメラ目線で素敵なポーズありがとうございます。



認知機能班

気温が三十度を超えるような日は、苑内の活動を行っておりません。今年は梅雨明け宣言がされる前から連日のように暑い日が続き、体力面や熱中症などが心配される事がありました。



ペーパークラフトが出来たら苑祭で展示しますよ！



豆つまみ。左右の手を使って均等に訓練を行います。



散策路の隅に咲いているタンポポを採りながら散歩を楽しんでいます。



パズルや塗り絵など楽しみながら頑張っています。



ボタン穴の紐通し、意外に難しいんですよ。



ひまわり苑調理室 増築内部改修工事

令和2年8月1日から令和4年1月31日完成予定で始まった、ひまわり苑調理室の改修工事。今年度に入ってから、工事の進捗状況もめざましく、毎日ひまわり苑に訪れる大きなトラックや大型クレーン車等重機に興味津々の利用者も多数で、窓から新しい調理室の完成を毎日見守っているようです。

7月に入ってから、新たに調理室となる建物の骨組みも出来上がり、新しい調理室が機能する日が待ち遠しい今日この頃です。

食堂ホールの窓、外壁の工事も完了し、新しい調理室とひまわり苑本体がつながる準備も整いました。



善意

地元企業の進藤冷菓様より、全国的に有名な「ババヘラアイス」を頂戴しました。
コロナウイルス感染対策でなかなか外出も自由にできないなかで、とてもうれしい贈り物でした。



新しい仲間が増えました!!

【入所】

令和3年4月26日付
東京都足立区

山本 哲寛さん(18歳)



鍵付のおもちやで遊ぶのが好きです。

【入所】

令和3年5月10日付
秋田県秋田市

鈴木 裕花さん(25歳)



童謡から演歌までいろいろな歌を知っています。

【採用】

令和3年7月1日付
◎支援員 薄田真理子

【採用】

令和3年7月1日付
◎支援員 佐藤千加子

【退職】

令和3年6月30日付
◎医療保健科長

佐藤 久美

ひまわり苑開苑当初から利用者の健康を見守ってくれました。長い間お疲れさまでした。